

本学心理科学部が「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」の「応用基礎レベルプラス(学部・学科単位)」に選定されました

北海道医療大学では、全国の医療系大学に先駆けてデータサイエンス教育を導入してまいりました。令和3年度には、文部科学省による認定制度である「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(MDASH)」のリテラシーレベルに認定され、認定を受けた教育プログラムの中から、特に優れたプログラムとして、リテラシーレベルプラスにも選定されています。また、令和6年度には、リテラシーレベルプラスに加え、医療技術学部における教育プログラムが応用基礎レベルに認定され、さらに、応用基礎レベルプラスにも選定されました。

この度、あらたに心理科学部における教育プログラムが応用基礎レベルに認定され、さらに、応用基礎レベルプラスにも選定されました。



本学看護福祉学部看護学科長の桑原教授が当別町より「社会貢献賞」を受賞しました。

看護福祉学部看護学科長の桑原ゆみ教授が、当別町の令和7年度「社会貢献賞」を受賞しました。

桑原教授は平成17年10月から20年間にわたり「当別町国民健康保険運営協議会」の委員として国民健康保険事業の運営や社会保障及び当別町民の保健向上にご尽力され、当別町に大きく貢献したことが今回の受賞となりました。



本学看護福祉学部看護学科が、日本看護学教育評価機構による看護学教育評価を受審し、「適合」の評価を受けました

本学看護福祉学部看護学科は、日本看護学教育評価機構による看護学教育評価を受審し、「適合」の評価を受けました。認定期間は2026年4月1日から2033年3月31日までの7年間です。本学の建学の理念に基づく教育目的や、看護学科の教育理念は明確であり、ディプロマ・ポリシーをはじめとする三つのポリシーの一貫性、教育課程の体系的が高く評価されました。PBLやTBL、OSCEの導入、充実した実習環

境、地域と連携した探究的学修など、学生の主体的な学びを支える取り組みも特長として挙げられています。一方で、ディプロマ・ポリシー到達度評価の整理や教員体制の充実など、改善に向けた課題も示されました。本学では、これらの指摘を踏まえ、今後も看護学教育の質向上に努めていきます。

EDITOR'S NOTE

もうすぐ春がやってきます。原稿を書いている今の時点では、すでに国家試験を終えてほっと一息ついた学部もあれば、これから本番を迎える学部もあり、キャンパスには安堵と緊張が入り混じった空気が漂っています。卒業を迎える学生たちの表情には、期待と名残惜しさが同居しており、その姿を見るたびに、この季節ならではの温かさを感じます。卒業生の皆さん、本当におめでとうございます。

今年は冬季オリンピックが開催され、日本人選手がいくつもメダルを獲得し、その活躍に胸を熱くしました。華やかな舞台の裏には、日々の地道な努力が積み重なっています。競技の分析やトレーニングの効率化には、きっとAIをはじめとする最新技術も取り入れられているでしょう。それでも最後に結果を左右するのは、技術をどう使いこなし、自分の成長につなげていくかという“人”の部分なのだと感じます。

「コスバ」や「タイバ」といった言葉が当たり前のように使われる時代になり、効率の良さが重視されるようになりました。もちろん効率化は大切ですが、スポーツ選手たちの姿を見ると、最新技術をただ使うだけではなく、自分の血肉に変えながら前に進む力こそが成長なのだと気づかされます。

本学では、この春から臨床データサイエンス学環が新設されます。AIやデータ解析といった先端技術を学ぶ場が広がることで、学生の皆さんが“技術を使える人”にとどまらず、“技術を自分の成長に結びつけられる人”へと育てていくことを期待しています。

最後に、こうして学生の皆さんの成長について思いを巡らせていると、大学そのものも成長し続けていく必要があると感じます。臨床データサイエンス学環の開設に続き、2028年には全ての学部教育の場が北広島市へと移ります。環境の変化を力に変えながら、北海道医療大学も成長を続けていきます。これからの歩みを、皆さまも温かいご支援で後押ししていただけますと幸いです。

(T.M.記)

ADVANCE

北海道医療大学広報誌 No.186

STAFF ● 町田 拓自 鹿内 ヲ 鹿内 浩樹 會田 英紀 横津 尚史
内ヶ島伸也 片山 寛信 鈴木 和 齊藤 恵一
上河邊 力 長谷川純子 山田 桃子 葛西 聡子
近藤 啓 高橋 祐輔 千葉 利代 三川 清輝
小林 昭博 南谷 賢宏 今井 結香

発行日 ● 2026年3月

編集・発行 ● 北海道医療大学広報部 入試広報課

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757

TEL:0133-22-2113

http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/

広報誌についてのご意見・ご要望・情報等をお待ちしています。
E-mail:nyushi@hoku-iryo-u.ac.jp



■北海道医療大学の教育理念

生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広い深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって地域社会ならびに国際社会に貢献することを北海道医療大学の教育理念とする。